

事業所名

放課後等デイサービスひかり

支援プログラム

作成日

令和6年

7月

17日

法人（事業所）理念		集団での療育を通して、生活習慣やコミュニケーションなどの社会性を身に付けたり、運動や遊びの中で、心と身体のバランスを取りながら、それぞれの健やかなる成長を目指し、ひとつでも多く出来る事を増やす事で、自信を付ける事に繋げながら、生きて行く力を自然に育てて行く。						
支援方針		ひとりひとりのペースに合わせ自主性、創造性、想像力、自立性、社会性、自己肯定感、好奇心を育てながら成長のサポートをしていく。						
営業時間		平日	13時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
		土曜および 長期休暇	9時	30分から	17時	30分まで		
		支 援 内 容						
本人 支 援	健康・生活	手洗い、うがいなどの励行。 おやつや昼食などに使用する机を消毒したり、児童が自ら管理出来る様促す事により、より多くの基本的な生活スキルの獲得へ繋げている。指導室に入室する前に、検温（毎日の記載あり）及び手指の消毒を行うなど、健康状態の維持を徹底する。指導室に入室後は、水分補給、トイレの声掛けなど生活リズムや生活習慣の形成を行っている。						
	運動・感覚	体育教員による集団運動の指導を室内プログラムに取り入れている。入所前のADLの記載により、個別に姿勢の維持や運動、動作の向上の指導を行っている。						
	認知・行動	それぞれの特性を踏まえながら、様々な思考パターンの偏りに配慮して行く。毎日のプログラムの流れや時間の確認など、視覚にアプローチしながら必要な情報を収集して行くことで、認知機能の発達を促進していく。						
	言語 コミュニケーション	絵カードや、場面カード、ロールプレイングなどのSSTを取り入れながら、相手への相互理解、意思伝達、話し言葉の使い分けなどのコミュニケーション能力を無理なく伸ばして行く。						
	人間関係 社会性	おでかけなどの小遠足や、食事マナー体験、買い物体験など、社会に関わる機会を多く持つことで、人間関係及び社会性の向上を目指して行く。						
家族支援		臨床心理士によるカウンセリング、児童、その家族のカウンセリングなどの時間を月一度設ける事で、家族の支援を行っている。			移行支援		地域住民の方とのレクリエーション（ポッチャ等）の参加や、ファミリーコンサートへの参加を通して、交流を図っている。	
地域支援・地域連携		市役所に於いて、他事業所の方達と連絡会議を行っている。事業所で過ごすお子様の様子を連絡帳や電話連絡を通して、各家庭に細かくお伝えする事で、保護者の方との連携を図っている。			職員の質の向上		強度行動障害などの研修、スキルアップ研修など、積極的に参加している。	
主な行事等		小遠足、調理体験、ハロウィンパーティ、クリスマス会など季節に応じた行事を、年間プログラムに取り入れている。臨床美術士による美術指導、パソコン教室、近くの体育館での体育教員による体育指導など、微細運動や粗大運動を積極的に取り入れる環境を定期的に提供し、脳の様々な領域へ刺激を与えながらよりよい成長を育てて行く事を目的としている。						